

療育研修会実施状況

講座名 静岡県内災害支援と津波対策 (静岡県) 支部 参加数 11 名
実施場所 静岡県難病支援センター

事業の実施状況写真



実施を終えて (感想等)

- 災害時のための災害要支援サポートカードは必要かつ
しっかり用意したいと思った。
- 避難所に行くか病院か自宅かの決断は状況により
大変むづかしい。一次避難所で過ごせない人の福祉避難
所が欲しいと思ったか(むづかしい?)
- 人工呼吸器の電源は充分確保しておく必要がある
(外部バッテリー、発電機、等)
- 各家庭での備蓄は7日分は必要とのこと。
防災のための...よりも日常使うものをうまく使い回す方が経
済的であるし、期限切れ廃棄になることも少ないとの助言に納得。
さつそく日頃の備蓄を見なおしたいと思った。

◆テーマ 静岡県災害支援と津波対策 講師 徳増 猛氏

静岡県災害支援ボランティアの徳増氏より「海が身近な静岡県民は、地震津波にどう対処したらよいか」をサブテーマに弱者である障害者はどのように対処すべきであるかを東日本大震災時における障害者の避難の実例を紹介し、人工呼吸器を使っている場合など、障害の度合における留意点を教えた。

◆テーマ

講師

「災害訓練としていても、車椅子の方々の参加がないう現状で、どう避難できるのか、又避難所の受け入れが出来るのか」今後の課題。

静岡県の真中に浜岡原発があり、もしもの場合30km圏内にかなりの患者さんが生活して居るのでその対策が今後の課題となる。